

音更町総合計画推進委員会会議結果（要旨）

会議名	第4回音更町総合計画推進委員会
開催日時	平成30年1月24日（水） 午後3時00分から午後5時00分
開催場所	音更町役場庁舎2階庁議室
委員出席者	津久井委員長、林委員長職務代理、荒川委員、岡庭委員、河田委員、小林委員、杉原委員、畠委員、宮崎委員、吉川委員
オブザーバ出席者	北海道十勝総合振興局地域創生部地域政策課長 小林氏 北海道十勝総合振興局地域創生部地域政策課主査（地域創生）若槻氏
町側出席者	渡辺企画財政部長、高橋企画課長、早苗商工観光課長、重堂産業連携課長、木谷産業連携係長、西岡企画調整係長、松島企画調整係主事
傍聴者	なし
議題・諮問内容	1 開会 2 あいさつ 3 議件 （1）重点施策推進管理評価調書、総合戦略推進管理評価調書の検証について 4 その他
会議資料	・音更町総合計画推進委員会議案 ・重点施策推進管理評価調書、総合戦略推進管理評価調書 ・音更町・池田町広域連携観光推進事業について ・魅力発信エリア検討資料 ・まちの台所 ・（冊子）第5期音更町総合計画後期分、音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略、音更町まちづくり町民アンケート結果報告書
会議結果	下記のとおり
出された主な意見等	<p>【観光】</p> <p>委員：ラリー選手権支援歓迎事業について、ギャラリーステージの雰囲気と町内の方がどのように関わっているのか確認したい。</p> <p>事務局：ラリーは林道をコースに使用し、一定のスペースを確保してギャラリーステージとしているが、観客は自分で椅子等を持参して観戦している。飲食ブースはなく、軽食や飲物、防寒具等も持参している。商工会が事務局のラリーを成功させる会がボランティアの運営をしており、当日の駐車場の整理やギャラリーステージの安全確保のほか、十勝川温泉の入浴剤を来場者に配布して町のPRもしている。</p> <p>委員：観光入込客数が140万人超で、インバウンドの割合はどのくらいか。インバウンド対策としてどのようなPRをしているのか。</p> <p>事務局：外国人の宿泊客数について、数字が残っている平成9年度は4,800人で、年々増え続け、28年度は台風の被害もあって若干減っているが、その前の年は73,900人ほどとなっている。観光協会では早くから特に台湾等を中心に海外プロモーションを実施しており、また、都市間バス</p>

のキャッシュバック、外国人宿泊者が各施設で使用できるクーポン券配布なども実施しており、それらの効果が表れているのではないかと考えている。

委員：SNSを活用したPRが必要ではないか。

事務局：海外メディアの記者、テレビ関係者、雑誌関係者などを招集して、地国に戻った時に、新聞、雑誌、SNS等で十勝川温泉を是非PRしてくださいという招聘事業を昨年は10回ほどやっている。彩凜華もインバウンドの方が年々増えている。

委員：音更と池田のオリジナル特産品開発の販売ルート等は決まっているのか。

事務局：今後の検討となっている。

【産業連携】

委員：有料駐車場とそうではない駐車場の違いは？

事務局：有料の方はRVパークを想定している。

委員：道の駅の整備に合わせて交通量の多い道路構造の変更等も必要では。

事務局：帯広開発建設部の協力をいただきながら協議する。

委員：市街地にも魅力発信拠点があった方がいいのでは。

事務局：町民が新たな魅力発信拠点に行く足を確保することも大事なことだと思っている。

委員：飲食や物販は民間企業を想定しているのか。

事務局：公の部分は公設公営、あるいは公が建てて民間に指定管理で運営していただくことも考えられるが、収益的な部分は民設民営が基本と考えている。民間が全体を建てて、一部公の部分を買収するというような形もありえる。

委員：チャレンジショップ的なことはできないのか。

事務局：イベントとして実施することは可能。

委員：民間事業者との契約に当たり、できるだけ地域の食材を使って取り組むというようなルール、ガイドライン作りは必要では。

事務局：期待をしているところであり、そうしなければならないと考えている。

【財政】

委員：同規模の自治体と比較してどうだという見せ方はどうか。

事務局：管内に同規模の町村はないので、管内で比較するのは難しいが、ホームページでは同規模の自治体と比較したものを公表している。